

平成 28 年度モニタリング調査について (ID 21:携帯トイレ)

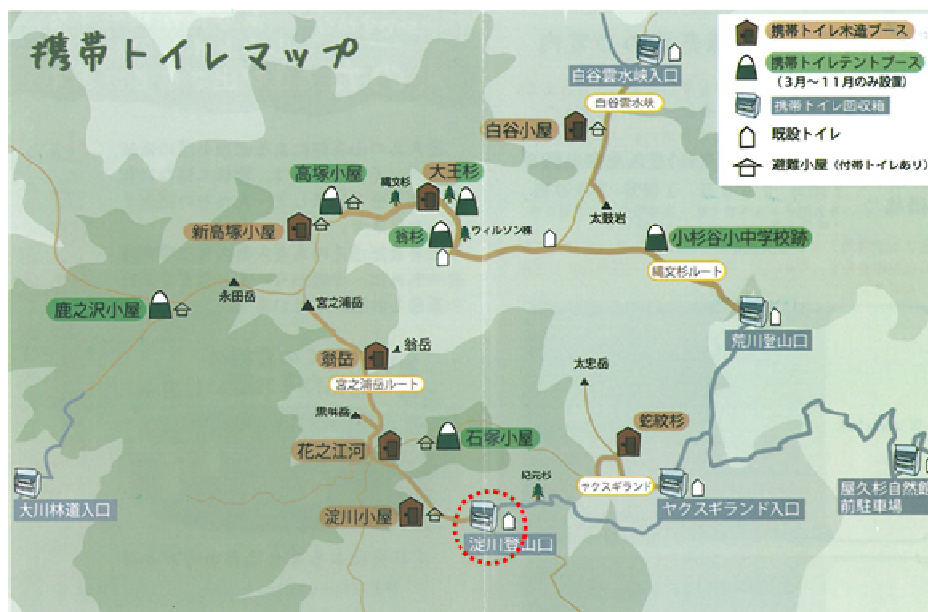
屋久島山岳部では、平成 22 年度から携帯トイレの導入を開始して普及啓発を図るとともに、その定着状況の把握に努めてきた。

平成 22 年度に 30%弱であったグループごとの携帯トイレ携行率は、平成 27 年度には 80%弱まで上昇し、登山者の理解が進んだことがうかがえるようになった。

しかしながら、携帯トイレの使用状況については実態を把握できていないため、今年度は携帯トイレの携行率調査とは別に、使用率の調査を行った。

1. 調査内容

(1) 実施場所 淀川登山口



(2) 実施日時

5月	2、5、25日	15:00～17:30
8月	16日	15:30～18:00
9月	18、24日	15:30～18:00
10月	9日	15:00～17:30
11月	4、5日	15:00～17:30

計 9日間

(3) 実施方法

登山口で、登山者が下山する時間帯に調査員を配置し、下山した登山者にアンケート調査を行った。

実施日時は、過去の登山者カウンターデータを参照して下山者が多いと見込まれる日、時間を選定した。

(4) アンケート記載事項

- ・アンケート実施時間
- ・ガイドの有無
- ・人数（男女別。ガイド除く）
- ・年齢層
- ・居住地域
- ・登山コース、日数
- ・携帯トイレ携行数
- ・携帯トイレ使用数
- ・使用した携帯トイレブース
- ・携帯トイレを携帯していたが使用しなかった場合の理由

2. 実施結果

(1) 携帯トイレ使用率

113 グループにアンケートを行い、83 グループが携帯トイレを携行していた。そのうち、29 グループが携帯トイレを使用していた。

携行率は、下山時調査結果のみでも 70%を超え、多くのグループが携帯トイレを携行していた。

全グループに占める携帯トイレ使用グループの割合は、25.66%と低く、携帯トイレ携行グループ中、使用したグループの割合も 35.94%と低かった。

調査グループ数	113グループ°	(294人)
携帯トイレ携行グループ数	83グループ°	
携帯トイレ使用グループ数	29グループ°	
下山時調査での携行率 (携行G/全G x 100)	73.45%	
使用率① (使用G/全G x 100)	25.66%	
使用率② (使用G/携行G x 100)	34.94%	

日帰り登山者と山中泊登山者別に集計も行った。

日帰り登山者では、携行率 74.74%。全グループに占める携帯トイレ使

用グループの割合は 28.42%で、携帯トイレ携行グループ中、使用したグループの割合は 38.03%だった。

山中泊登山者では、携行率 66.67%。全グループに占める携帯トイレ使用グループの割合は 11.11%で、携帯トイレ携行グループ中、使用したグループの割合は 16.67%だった。

今回調査では、日帰り登山者、山中泊登山者ともに、携帯トイレを持っているのに使っていない状況がうかがえた。

	日帰り	山中泊
調査グループ数	95グループ°	18グループ°
携帯トイレ携行グループ数	71グループ°	12グループ°
携帯トイレ使用グループ数	27グループ°	2グループ°
下山時調査での携行率 (携行G/全G x 100)	74.74%	66.67%
使用率① (使用G/全G x 100)	28.42%	11.11%
使用率② (使用G/携行G x 100)	38.03%	16.67%

(2) 使用された携帯トイレブース

29 グループから 37 箇所の回答があり、翁岳のブースの使用が最も多かった。

	日帰り	山中泊	計
翁岳	12	2	14
花之江河	12	0	12
淀川小屋	6	2	8
その他	2	0	2
石塚小屋	1	0	1
	33	4	37

(3) 携帯トイレを使わなかった理由

使用率把握とともに、携帯トイレを持っているのに使わなかった理由についても把握に努めた。67 件の回答記入があり、「小屋のトイレで足りた」という内容のものがほとんどを占めた。

回答内容	回答数	%	%
トイレに行かなかった	11	16.42	—
小屋で足りた	49	73.13	87.5
我慢した	5	7.46	8.93
汗をかいたため	1	1.49	1.79
途中で下山したため	1	1.49	1.79
	67		56